

平成 30 年 久慈川のアユ解禁日調査について

茨城県水産試験場内水面支場
内水面資源部 発行

6 月 1 日（金）に茨城県内の主な河川でアユ釣りが解禁となりました。久慈川において、解禁日の釣り客等の状況を調査しましたので、その結果をお知らせします。

当日は、曇りのち晴れとなりましたが、前日に久慈川上流部で雨が降った影響で、水量はやや多め、河川水には濁りがありました。水温は午前 5 時 40 分時点での仲之関橋の釣り場（県境付近）が 16.3℃、午前 8 時 10 分時点での大子町ヤナ場付近の釣り場が 18.6℃でした。

朝の時点では、河川の濁りのため釣をする人よりも陸で様子を見ている人が多く見られましたが、昼過ぎからは河川水の濁りも落ち着き始めたため、釣りをする人が増えました。釣果については、漁協の監視員からの聞き取りによれば、昼過ぎまでに多く釣った人は下野宮地先で 7 尾とのことでした。

当日の釣り客数は、水産試験場が午前中に主だった釣り場で数えた人数は 125 名、久慈川漁協が夕方までアユ釣り場全域で数えた人数は 200 名となり、多くの釣り客が訪れていました。

水産試験場の現地確認および釣り人からの聞き取りによれば、釣れたアユの大きさ（全長）は 13～17 cm 程度、アユの当りは多いとのことでした。

これからのアユの成長と、夏の本格的な季節に向けて良い釣果が続くことを期待します。

調査日 平成 30 年 6 月 1 日（金）

